



2022年12月23日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹



太陽生命、「国内太陽光発電事業」への投資を実施 ～コーポレートPPAを活用した国内初のグリーンプロジェクトボンド案件～

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、ESG投融資の一環として、国内太陽光発電事業を対象とするグリーンプロジェクトへの投資を実行しましたのでお知らせいたします。

本件は、法人向けNon-Fit再エネ発電事業を中心に手掛ける株式会社クリーンエナジーコネク트가スポンサーとなり、700件を超える低圧太陽光発電所の開発・運営を行うプロジェクトであり、当該発電所で発電される電力は民間企業に対し、30年間に渡り全量固定価格で売電することとなっております。なお、低圧太陽光発電所を対象とし、かつコーポレートPPAを活用したグリーンプロジェクトボンドは国内初^(*)の案件となります。

<概要>

発行体：合同会社CN太陽光

スポンサー：株式会社クリーンエナジーコネク트가

アレンジャー：ゴールドマン・サックス証券株式会社

組成金額：87.6億円

SDGs：本件によって調達された資金は、当該太陽光発電事業を通じて、SDGsの下記目標の達成に貢献します。



当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」^(*)に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献する取組みを進めてまいります。

以 上

^(*) 国内における信用格付けが付与された公表案件としては初案件となります。

^(**) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。